K100

伝統校＆公立編 80 100

為せば成る 長内孝

桐蔭学園

敵は原父子にあらず？

一球一球と パンチ佐藤

武相

「お調子者」実像と原点

3年夏の神奈川大会は、初戦で先制ホームランをサヨナラ打を放ち、その後も中軸として活躍を見せた ＝1982年7月

高校時代から、佐藤和弘53はやはりパンチ佐藤だった。

3年夏の関東大会に臨んだ武相は、初戦で宇都宮工業と対戦する。東京・三鷹と同じだった。1982年5月、4季連続で甲子園に出ていた大エース、金属を回避していた。

四回、佐藤は得点のチャンスを迎える。「ベンチの指示でバントをしようとしたんです。これは私がバントベースを回る。一塁を踏んだところで、ずっこけてしまう、『両大会出てこれかよ』とずっこけてやってやろうと思っていました。ずっこけてしまう、『両大会出てこれかよ』とずっこけてやってやろうと思っていました。これは私がバントベースを回る。一塁を踏んだところで、